

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/09/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢不安定化で安値修正

NY原油先物相場は、1バレル=71ドル水準まで値上がりする展開になった。前週にメキシコ湾で発生したハリケーン「Francine」による供給障害が予想されていたよりも大きく、週明け直後から買いが膨らんだ。週中盤は利食い売りで上げ一服となったが、その後は中東地政学リスクを織り込む形で改めて地合を引き締めている。9月20日に10月限が取引最終日を迎えたこともあり、売りポジション整理の動きが続いた。

レバノンでは通信機器の爆発が相次ぎ、多数の死者・負傷者が発生した。武装組織ヒズボラ幹部は、イスラエルによるサイバー攻撃だとして報復を宣言したが、20日にはイスラエル軍がレバノン首都ベイルートに対して空爆を実施し、複数のヒズボラ幹部が死亡した。原油需給に対する影響は認められないが、地政学リスクの高まりが原油市場で売りポジションの整理を促した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月13日時点）は、原油が前週163万バレル減、ガソリンが7万バレル増、石油精製品が13万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要不安で戻り売り優勢、地政学リスクの上昇は一時的か

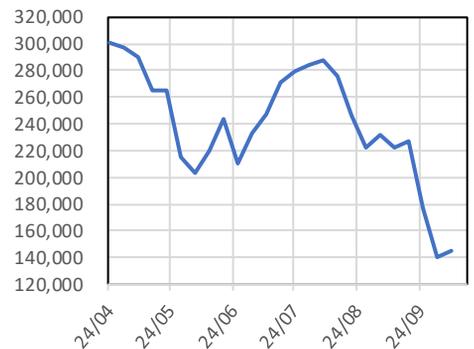
需要不安を背景に9月10日に65.27ドルまで下落した後の反発フェーズにある。特に中東情勢が改めて不安定化していることに注意が必要であり、今後の展開によっては更に修正高が促されるリスクを残す。ただし、現実の原油供給障害が発生しないのであれば、これまでと同様に戻り売り優勢の展開が維持される見通し。自律反発を消化しつつ、上値の重さを再確認する展開になろう。

中東ではイスラエルとハマスの停戦協議が進展しない中で、イスラエルとヒズボラの戦闘が激化している。ただし、原油市場の目線で注目されるのは、原油供給障害が発生するか否かであり、漠然とした不安感のみで安値修正が進んだ局面では、売り妙味が高まる。60ドル台中盤から後半での取引に回帰しよう。

一方、主要産油国であるイランも軍事紛争に巻き込まれるようなリスクが高まると、一気に75ドルの節目を上抜く可能性がある。イスラエルとイランの軍事衝突の有無が、原油相場が修正高に留まるか、大きな上昇局面に発展するかの分岐点になろう。

今週は原油需給に関して大きなイベントは予定されていないが、需要不安の織り込みが再開されると下値模索の展開になる。中国を筆頭とした需要鈍化、需要端境期の季節要因などが材料視されると、今後の需給緩和リスクを織り込む形で下値追いの展開が再開される。特に70.00ドルの節目を完全に下抜くと、チャート環境からも売り安心感が強まろう。10月限の取引終了を受けて、11月限に対して改めて売りポジション構築の動きがみられ、逆鞘（期近高・期先安）縮小が促されるかにも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

